



# 学校だより

No.6

校長 鯉沼 哲

## 自分らしく生きるには

副校長 井口 基

朝晩の清々しい空気の中に、秋の気配が漂う頃となりました。日中の日差しには、夏の名残を感じることもありますので、皆様、体調を崩さぬよう、どうぞお気をつけてお過ごしください。

学校生活に限ったことではありませんが、日々、生きていく中で、子ども達は様々な出来事に直面します。そんな時、重要になるのは「自己決定」のスキルです。どのような選択をしたとしても、そこには必ずメリットとデメリットが存在します。しかし、利害だけを計算して行動を決めることは、必ずしも正しい選択であるとは言えません。「結果がうまくいかなくても後悔ばかりしない」「リスクを引き受ける(自分の言動に責任をもつ)」ということが大切です。「失敗から学ぶこと」もたくさんあるでしょう。「自分はどうしたいのか」「自分はどうするべきなのか」をきちんと考え(行動する前に自分自身に問いかける)、自分で判断して行動することができるようになったならば、それは「成長」への第一歩となるでしょう。

WHO(世界保健機関)は、「日常の様々な問題に健康的に対処するために必要な10のスキル」をあげています。

○意思決定○問題解決○創造的思考○批判的思考○効果的コミュニケーション○対人関係○自己意識

○共感性○情動への対処○ストレスへの対処

です。なるほど、どれも大切なことだとは思いますが、これらのスキル(技術)を習得するためには、どんなことをすればよいのでしょうか。

補助輪なしの自転車に乗れるようになる。逆上がりができるようになる。九九を暗唱できる。どれも、初めからできる人はあまりいないでしょう。技術(スキル)を習得するためには、ある程度の練習が必要です。前述の10のスキルについても同じことがいえます。練習を行う場の一つが「学校生活」です。考え方も価値観も多様な、他者との集団生活は、将来、子ども達が出ていくであろう「社会」という場の縮図になっています。「学校」という小さな社会で、生活実践を通して練習を重ねることによって、「日常の様々な問題に健康的に対処するために必要な10のスキル」は少しずつ身に付いていきます。(もちろん、「学校」以外にも、「家庭」や「地域」と、練習の場はたくさん存在します。)

日常の様々な問題に健康的に対処することができたのなら、それは、「自分らしく」生きられるということにつながる気がします。「自分らしさ」と「わがまま」は、まったく違うものです。各自が「わがまま」に発言したり、行動したりした場合、集団内で衝突ばかりが起こり、あまり良い方向にはいきません。「自分らしく」生きることは、相手の「自分らしさ」を認めることから始まります。互いの違いをまずは認めた上で、集団としての方向性に各自が折り合いをつけながら生活していくことが、社会では求められます。そんな中、窮屈な生き方しかできないようにならないためにも、今のうちから、「自分らしく生きる」ためのスキルを、少しずつ磨いていくことが重要なのではないのでしょうか。

あと一週間で、前期が終わります。ふりかえりと、次に向けた目標設定をしっかりと行い、後期を迎えてほしいと思います。前期の六か月間、学校運営にご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。後期も、どうぞよろしくお願いたします。

## 10月の予定

行事の後ろの数字は、学年を表しています。

「ゆ・学」は、ゆうやけ教室と学vivaの略です。ゆうやけ教室と学vivaの有無を表しています。

「S・C」はスクールカウンセラーの略で、来校日を表しています。

「キッズぱれっと」の開催日程については、決まり次第別途お知らせいたします。

1~6年の欄の数字は、その日の授業時間数を表しています。

避難訓練は、例年予告なしで実施しています。

C時程は掃除なしの時程になります。

今後の行事予定は、感染状況によっては変更があり得ます。ご承知おきください。

	曜日	行事	ゆ・学	S・C	キッズ	1年	2年	3年	4年	5年	6年	部活動朝	部活動放課後
1	土	都民の日(足立区民の日)											
2	日												
3	月	委員会 C時程 ICT支援員来校日		○	56	5	5	5	5	6	6	バスケ	
4	火	連合運動会(6) ICT支援員来校日	学	○	3	3	3	3	3	3	6	金管	
5	水	ゆうびん学習(2)			3	5	5	5	5	5	5	金管 バスケ	
6	木	連合運動会予備日 ICT支援員来校日	ゆ		3	5	5	6	6	6	6	サッカー	
7	金	前期終業式 C時程 外国語アドバイザー来校日	学		4	5	5	5	5	5	5	金管	
8	土												
9	日												
10	月	スポーツの日											
11	火	後期始業式 学校公開始 地域清掃活動(3校時) ICT支援員来校日	学	○	3	5	6	6	6	6	6	サッカー	金管
12	水	たてわり班集会 大お話し会 ICT支援員来校日 区小研		○	3	4	4	4	4	4	4	金管 バスケ	
13	木	学校説明会 安全指導日 歯磨き指導(1)	ゆ		3	5	5	6	6	6	6	サッカー	
14	金	わかめ学習(5) 外国語アドバイザー来校日 ICT支援員来校日	学		456	5	5	5	6	6	6	金管	
15	土	学校公開終 親子教室(15名)				3	3	3	3	3	3		
16	日												
17	月	色覚検査(4・希望者) クラブ ICT支援員来校日		○	456	5	5	5	6	6	6	バスケ	
18	火	交通安全教室(146)	学	○	2	5	6	6	6	6	6	サッカー	金管
19	水	地域清掃活動予備日			3	5	5	5	5	5	5	金管 バスケ	
20	木	避難訓練(起震車) 脊柱側弯検診(5) ICT支援員来校日	ゆ		3	5	5	6	6	6	6	サッカー	
21	金	外国語アドバイザー来校日 ICT支援員来校日 誕生日給食	学		3	5	5	5	6	6	6	金管	
22	土												
23	日												
24	月	補習(12) 教育実習始 社会科見学(5※オンライン) ICT支援員来校日		○	3	5	5	6	6	6	6	バスケ	
25	火	C時程 ICT支援員来校日	学	○	2	5	6	6	6	6	6	サッカー	金管
26	水	就学時健診のため4時間 やよい図書館読み聞かせ(2)			3	4	4	4	4	4	4	金管	
27	木	長縄チャレンジ	ゆ		3	5	5	6	6	6	6	サッカー	
28	金	外国語アドバイザー来校日 ICT支援員来校日 環境学習(4)	学		456	5	5	5	6	6	6	金管	
29	土	区陸上大会(6)											
30	日												
31	月	補習(12) 教育実習始 ICT支援員来校日		○	3	5	5	6	6	6	6	バスケ	

## 10月の目標

- ◎生活目標…ものを大切にしましょう。
- ◎清掃目標…安全に注意してやりましょう。
- ◎保健目標…目を大切にしよう。
- ◎給食目標…食後は静かに休みましょう。

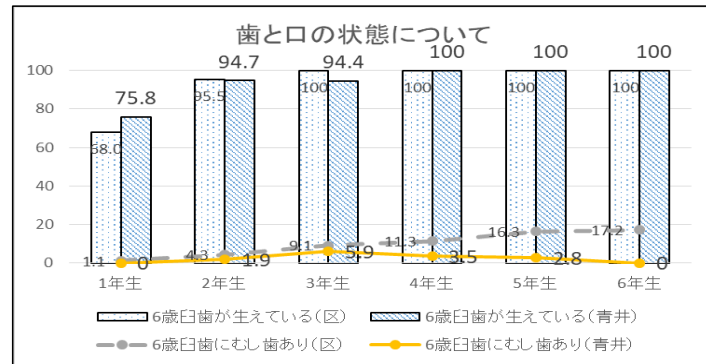
## 青井小学校が歯科保健「優秀賞」に選ばれました

養護教諭 伊藤 瑞季

東京都では毎年、「東京都学校歯科保健優良校表彰」を行っており、歯科検診の結果や学校での取り組みなどを調査して「優秀賞」とその中でも特に優良な「優良校」を決めています。

今年度、青井小学校は「優秀賞」に選ばれました。

令和4年度の青井小の子ども達と、令和3年度の足立区全体の子どもの歯と口の健康状態はこのようなになっています。



前から6番目の永久歯が6歳臼歯と呼ばれる歯です。3・4年生くらいになると全員に生えてくる永久歯で、早くに生えてくるのでむし歯になりやすいと言われています。

青井小の子ども達は、6歳臼歯のむし歯がかなり少ない割合で推移しています。

感染状況が落ち着くまでは給食後の歯みがきができませんが、食後のうがい用にコップを持参していただいたり、ご家庭で朝・晩の歯みがきの習慣作りをしていただいたりして、子ども達が生涯を通じて健康な歯を守るように学校と家庭と一緒に取り組んでいきましょう。



## 6年生 ～ 後期のめあて ～

僕は、後期の目標として三つのことを意識していきたいです。

一つ目が何事も全力で取り組むことです。自分の苦手な事でも前向きに取り組み、他の人を励ましていける存在になりたいです。

二つ目は友達と協力し、お互いを高めたいです。友達が頑張っていたら一緒に喜び、間違っていた時は相手のことを思い、勇気を出して伝えます。

三つ目は常に考えて行動することです。次は何があるのか、何が必要なのかなど先のことを考え、周りに迷惑をかけないようにしていきたいです。また、今までの六年生がそうしてくれていたように、自分たちで考え、頑張っている姿を五年生に見せ、青井小の伝統をつないでいきたいです。

卒業まで残り半年になりました。見通しをもって行動するようにし、悔いのない小学校生活にしていきたいです。

六年一組

私が後期に頑張りたいことは二つあります。

一つめは、学校行事です。今年は、青井小学校五〇周年の大切な年で、様々な人が青井小学校に来ます。そんな学校の六年生として、あいさつ、思いやり、一生懸命をモットーにがんばりたいです。

二つめは、来年度青井小学校を引っ張っていく五年生に、バトンをしっかりとわたせるように努めることです。去年の六年生が周りから支えられていたのは、その分の努力をしていたからだと思えます。五年生に、何を伝えなければならいいのか、どんな姿を見せればいいのか、考えて行動したいです。

この二つを大切に、五年生の時に、担任の先生が言ってくれた「考えて動く」「考動」を意識して、残された六カ月を楽しんで生活したいです。

六年二組